

日本トムソン

日本トムソンはニードルベアリング、直動案内機器および精密位置決めテーブルを手がける総合軸受メーカー。同社の直動案内機器「CルーブリニアウェイLML」は小型ながらも安定した精度・剛性が得られる。また、独自の潤滑部品「Cルーブ」を内蔵し、長期メンテナンスフリーを実現。半導体・液晶関連製造装置などの幅広い用途で、優れた性能が高く評価されている。

今回、同社はMLシリーズに「超ロングユニットMLL」を追加。MLLは従来の最長ユニットMLGよりも1.3倍長い構造で、負荷容量が1.3倍、走行時の振れも大幅に向上し、より高精度・高剛性な送り機構を実現する。断面高さはスタンダード製品と同一寸法で、大幅に設計を変更することなく機械装置の性能向上が可能である。

東鋼

東鋼は医療用工具、人工関節施術時に人骨を加工するためのステンレス製工具を扱う。同社は特殊精密切削工具メーカーとして自動車、航空機、工作機械、弱電、文具、食品などの業界で、多くのユーザーから問題解決型企業の評価を得ている。そこで、70年間にわたって培ってきた技術・技能とシステムを医療業界に役立てるべく投入。それは工具の開発・設計という技術提供、1本からの製作対応、ユーザーの要望に合わせた短納期を実現・提供するシステムであり、図面に忠実な再現性のある確かなモノづくりの技能である。最近では東京大学との共同研究をはじめ、動力計やハイスピードカメラなどの検査・評価機器を導入・充実させ、「患者さまの負担にならない優しい工具」の開発を目指している。

スズキプレシオン

スズキプレシオンは医療や半導体、バイオテクノロジーといった最先端の製品開発分野で高度化するニーズに応えるべく、超微細切削加工の極限に挑み続けている。同時に、品質管理体制の構築に万全を期しており、ISO9001だけでなく、医療機器製造に特化したISO13485も認証取得している。同社が最も得意としているのは、生体適合性に優れ、インプラントなど医療器具への適用が増大しているチタン合金の切削加工。また、患者の負担を最小限に抑える低侵襲医療に貢献する器具の開発にも力を入れる。単孔式内視鏡下手術用デバイス、内視鏡鉗子孔から挿入可能な病変・臓器・リンパ節けん引用デバイスなど、次々と成果を生み出している。

医療機器製造業のアジア最大イベント来場事前登録（無料）受付中！ 本日から2日間開催!!!

MEDTEC Japan 2011

同時開催

Medical Electronics Design Conference & Exhibition
医療用エレクトロニクスに関する展示会・国際会議

DesignMED
Japan



名称：MEDTEC Japan 2011 (メドテックジャパン 2011)

DesignMED Japan 2011 (デザインメドジャパン 2011)

会期：2011年6月29日(水)～30日(木)
10:00～17:00 (最終日は16:00まで)

会場：パシフィコ横浜 展示ホール

主催：UBM Canon

後援：日本医療機器産業連合会

 **医機連**
日本医療機器産業連合会
JFMDA
The Japan Federation of
Medical Devices Associations

www.medtecjapan.com

無料でご入場いただくには、ホームページより事前登録をしてください。

お問い合わせ：03-4360-5763 (9時～18時・土日祝休) Email：helpdeskjapan@cancom.com